

高校生みなさんからの手紙。

「高校生と矢板市議会との意見交換会」に参加くださった、矢板中央高校の生徒会長に、意見交換会の感想をいただきました。



矢板中央高校 3年 立川 真未さん

今回、市議会議員の方々と意見交換をして、とても貴重な体験だったなと感じました。地域の運営に関わる方々と直接話をしたり、高校生の意見を聞いてもらったりすることが普段の生活の中ではほとんどないため、同世代の中高生たちがもっと住みやすく充実した生活を送れるよう改善するための意見をじかにぶつけることができたのはとてもありがたいことだと感じました。

新型コロナウイルスの流行もある中、安全に意見交換会が開催できるようご尽力いただいた市議会の皆様、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

矢板市議会へのご意見・ご提言は
こちらまでお寄せください。いた
だいてから1か月を目安に矢板市
議会HPでご回答いたします。

・FAX 0287-44-1100
・Email gikaijimukyoku@
city.yaita.tochigi.jp
・封書など 〒329-2192
矢板市本町5-4
矢板市議会事務局宛

16
通目

次回3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22	23	24	25	26
					本会議 (開会)	
27	28	3/1	2	3	4	5
		本会議(一般質問)		常任委員会		
6	7	8	9	10	11	12
			予算審査特別委員会分科会			
13	14	15	16	17	18	19
				本会議 (閉会)		
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2/9(水)全員協議会
いずれの日も10:00開会
※新型コロナウイルスの感染状況により変更場合があります。

議会の動画を見る。

本会議の様をインターネットで録画しています。
市議会ホームページから見る
ことができます。

議会に参加する。

議会に対して、陳情等を提出
することができます。
また、ご意見・ご提言なども随時
お寄せください。

議会の傍聴について。

新型コロナウイルス感染症対策
のため、市民の皆様には、議会の
傍聴をご遠慮いただく形とさせ
ていただいております。

議会だよりへの声。

より良い議会だより作成のため、
皆様からのご意見・ご感想をお
待ちしています。

Webアンケートは
こちら▶



+ 編集後記 +

矢板市議会では、今年度、常任委員会でのオンライン審査、議会報告会・意見交換会のWEB・書面開催、市内団体との議会報告会・意見交換会、市内活性化のための議員メッセージなど、市議会初の取り組みを行い、議会改革を推進しております。

矢板市商工会との意見交換会では「アフターコロナを見据えた経済対策」について次世代を見据えた、熱い議論が交わされました。文化・スポーツ面で活躍中の市内3つの高校との意見交換会でも、若い世代の前向きなご意見を多数頂戴しました。

議会に寄せられた貴重なご意見をもとに議員一丸となって「公共の福祉」の向上と「住んで良かったまちづくり」を目指してまいります。

(副委員長 高瀬由子)

※次号(第217号)は5月1日発行予定です。



議場で自習！ 待ってるよ！



[自習室利用時間] 平日 8:30~17:00

※開いてないときもあるので、
行きたい!と思った時には、お電話くださいね。

【第215号のお詫びと訂正について】このたび令和3年11月1日に紙媒体で配布いたしました、第215号につきましては内容に一部誤りがございました。深くお詫びいたしますとともに、謹んで訂正させていただきます。 ■ P11のタイトル下 <訂正前>岐阜県 <訂正後>滋賀県

矢板市 議会だより

第370回 12月定例会
令和3年度一般会計補正予算案などを可決

声をチカラに、 声をカタチに...。

第216号
令和4年2月1日

議会
報告会

意見
交換会

詳細
報告



矢板東高校生との
意見交換会



矢板中央高校生との
意見交換会



矢板高校生との
意見交換会



矢板市議会初
団体との意見交換会



矢板市議会初
WEB・書面による議会報告会



議会改革アドバイザー研修

目次

議会報告会・意見交換会	2	市政発展のために！「一般質問」報告	12
高校生と矢板市議会との意見交換会	5	矢板市議会ニュース	15
委員会審査レポート	10	高校生のみなさんからの手紙。	16

第216号
矢板市議会だより
2022年2月1日
編集／議会広報広聴委員会
発行／矢板市議会
印刷／株式会社グエスタ

〒329-2192 矢板市本町5番4号
Tel : 0287-43-6216 Fax : 0287-44-1100
Mail : gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp

矢板市議会
検索

議会報告会・意見交換会 高校生と矢板市議会との意見交換会

皆さまからいただいたご意見(抜粋)を紹介します。

議会報告会 意見交換会

令和3年10月7日、矢板市議会では初となる「団体との意見交換会」を開催しました。「アフターコロナを見据えた経済対策」について、矢板市商工会の皆さんと意見交換を行いました。
また、こちらも初となる、インターネットを活用したWEB方式でも実施しました。インターネット利用が困難な方向けに書面方式もあわせて行いました。



P3
団体との意見交換会



P4
WEB方式



P4
書面方式

高校生と 矢板市議会との 意見交換会

令和3年11月、市内3高校と、「高校生と矢板市議会との意見交換会」を開催しました。矢板市において、交流人口と昼間人口の面で重要な割合を占める高校生たちの「生」の声を聴き、まちづくりに活かすことが目的です。



P5
矢板東高校



P6
矢板中央高校



P7
矢板高校

議会報告会・意見交換会【商工会との意見交換会】 テーマ：アフターコロナを見据えた経済対策について



日時：令和3年10月7日(木) 14:30~16:30

会場：矢板市商工会

参加者：11名

いただいた ご意見

工業委員会から

- 生産設備等に対する固定資産税等の軽減措置
- 設備投資への補助金等の支援
- 雇用維持のための助成金
- コロナ感染防止対策器具等の地元発注
- 資金繰りなど金融面での支援
- 売上減少を補填する現金給付
- Eコマースによるビジネスモデル(HP)構築支援
- 修繕費またはメンテナンス費用の一部助成
- プレミアム付商品券(リフォーム分)の継続的な発行事業

個人意見

- 矢板インターへの拡幅事業。沿線開発・市道の整備、道の駅やいたの沿線、農業地の開発が必要。
- 矢板のビジョン。コロナで国から来た資金を次につなげる。住環境を良くして、定住促進が望まれる。
- 既存の事業での貢献者がいない。100万、200万を渡し、責任もって事業をスタートしていただく。それを援助できる施策を。
- 一番困っているのは来店がないこと。小売業クーポン券について、全戸配布は分かりやすい。来店促進の点では自社に比べ効果大。アフターコロナではぜひ取り組んでいただきたい。

商業委員会から

- プレミアム付商品券の継続的な発行事業
- ワクチン接種証明または陰性証明を活用した販促活動支援金
- 商業者・サービス業者版クーポン券の発行
- 感染防止対策設備導入支援事業補助金の再設
- 飲食クーポン券の継続的な発行事業



議会報告会・意見交換会【WEB/書面】



WEB

期 間：令和3年9月30日～10月19日
場 所：矢板市議会ホームページ
参加者：5名

書 面

期 間：令和3年9月24日～10月19日
場 所：市役所、矢板・泉・片岡公民館
参加者：7名

《WEB・書面共通テーマ》

アフターコロナを見据えた経済対策／環境にやさしいまちづくり／子育て世代から矢板市へ望むこと

いただいた ご意見

経済対策

- ショッピングモール(アウトレット)等の誘致を希望します。理由としては、まず矢板市はさびれていて、活気がない印象があります。
- 市内クーポン券はとても良かった。また実施してほしい。
- 農作物の売り上げ減少について、破棄してしまう分を、どこかの臨時促売所などで少し安く販売する。
- 市独自の観光・食事等に使えるクーポンの配布(宿泊含)
- 市内で利用できるプレミアム商品券の発売をしては。
- 巣ごもりクーポンとても良かったです。また、クーポン事業を行ってほしい。



環境

- 空き家や廃虚を減らしてもらって、きれいな街にしてもらいたい。
- ソーラーパネルばかりの、市民にとってつまらない町には、ならないでほしいです。
- 衣類リサイクル日が季節ごとにあっても良いのではないかな。
- 新しいクリーンセンターもできたのでぜひプラゴミの回収をお願いしたいと思います。
- 休耕田、耕作放棄地などを利用して、小麦や大豆、野菜などを作る農業法人のようなものをつくり、収穫したもので、パンや大豆製品など、矢板の特産物を作ってほしい。

子育て

- 少子化と、共働きにより、スポーツクラブの活動がうまくいってません。
- 6歳以降の医療費の立て替え支払いを廃止してほしい。
- 屋外で子どもを遊ばせたいので、アスレチック場などがあると良い。
- 男性の育休促進(子どもも見ながらの家事はとても大変)。「ママじゃないとダメ」をなくそう。
- 育児相談(特に発達関係)は保育園と子ども園では差があるので、相談できる人、場を増やしてほしい。
- 市の特徴を生かしたイベント等を考えてはどうか。
- 小学校まではスクールバスでの通学だが、中学校は7km近い通学路を自転車で通うことになり、この落差はとても複雑な気持ちです。中学校でもバス通学を検討してもらえればと思います。

高校生と矢板市議会との意見交換会

日 時：令和3年11月10日(水) 15:45～17:15

会 場：矢板東高校 東雲ホール

参加者：13名

矢板市の好きなところ

- おしらじの滝、川崎城跡などの観光地
- 矢板駅前の冬期イルミネーションがきれい。
- 道の駅が盛んで、矢板市のアピールが良くされている。
- 駅が2つあって便利。
- 自然が豊かで長峰公園が素晴らしい。
- お店や農家の人が優しい。
- 高校が3つあるので、学生が多く行き交っている。

矢板市のきれいなところ

- 矢板市「だけ」の強みがなくてパツとしない。
- 駅近くに活気がない(シャッター街になっている)。
- 夜道が暗くて、帰宅が遅くなると事故に遭いそうで怖い。
- 下校時などに勉強できる場所が少ない。
- 廃屋が多い。
- 行きたい場所でも駅から遠いものがある。

矢板市に望むこと

- 矢板駅周辺で勉強ができる場所が欲しい。
- 学校がたくさんあることを生かして、市全体で学生の交流行事をつくってほしい。
- 空き家を活用して人が集える空間を作ってほしい。
- 市のボランティアスクールをつくって手伝いや市の発展について考えていくべき。
- ユニバーサルデザインを使って誰にでも不自由なく暮らせるようにしてほしい。
- VRでのおしらじの滝ツアー。
- 高校前に無料のレンタサイクル。
- 幼児たちが生き生きできて、子育てしやすい街にしていけるべき。





声をチカラに、声をカタチに…。

高校生と矢板市議会との意見交換会

日 時：令和3年11月15日(月) 13：30～15：00

会 場：矢板中央高校 会議室

参加者：12名

矢板市の好きなところ

- 静かで自然豊か。
- 古くからのものが多く残っている。
- 駅の利用者(高校生)が多い。
- 矢板中央サッカー応援など市全体が一体化している。
- 郵便局や銀行が近くにある。
- 夜の駅前イルミネーションやクリスマスツリーがきれい。

矢板市のきれいなところ

- 高校生が放課後遊べる場所が少ない。
- やっているのかやっていないのかわからないお店が多い。
- 矢板といえばの特産物がない。
- イベントがない。
- 駅が小さい。
- 交通が不便。
- 街灯がない。

矢板市に望むこと

- 中高校生ができる活動をつくってほしい。
- 学校から駅までが暗いので街灯を増やす。
- 商業施設が欲しい。
- 学校近辺に飲食店が欲しい。
- 5G対応にしてほしい。
- 貸出自転車施設が欲しい。
- 勉強できるスペースが欲しい。
- 犯罪対策をしてほしい。
- 防犯カメラの設置をしてほしい。
- トイレを増やしてほしい。
- 図書館が欲しい。
- 祭りを増やす。
- 観光スポットを増やす。
- 矢板市に国会を。
- 矢板市に海に代わるものが欲しい。

声をチカラに、声をカタチに…。

高校生と矢板市議会との意見交換会

日 時：令和3年11月18日(木) 14：45～16：10

会 場：矢板高校 視聴覚室

参加者：20名

高校生の立場でまちづくりでやってみたいこと

- 高校生が企画して、全世代が楽しめるところを作る。
- 観光(写真映え)スポットを作る。
- シャッター街の有効活用。閉店店舗を新しい人たちが借りるよう、誘致活動をする。
- 森が多いので自然に触れ合えて、子ども、大人両方の人たちが楽しめるような施設を作りたい。
- 街に花を植える。美化活動をする。
- 3つの高校が集まって流行している物を作る。
- 矢板のりんごを使って新しいスイーツ、料理を開発する。(アップルパイや練り切り、アップルカレーなど)
- 国体をアピールする。(看板、花を飾る、マスコット、アップルカレーPRなど)

矢板市(市役所)に望むこと

- 通学路の街灯設置。(ヨークベニマルから矢板高校まで)
- 道路の整備。(歩道の凸凹や危険な段差整備、草刈等)
- バスの本数を増やしてほしい。(雨の日は利用が増えるので、遅刻することもある)
- バスの運賃の値下げ。
- 運動公園にテニスコートが2面欲しい。(冬は学校のコートが使えないため)
- 国体で、伝統的な祭りや矢板市が持っている県内一の物を披露する。
- 高校生の力を使って、矢板市をSNS発信させる。
- 観光名所の連携事業をつくってほしい。
- イベントや食べ物などを市にあるお店に声をかけて開発する。

議会報告会・意見交換会 高校生と矢板市議会との意見交換会



～いただいたご意見は、大切に扱っていきます～

STEP
01

意見の内容を全議員で確認しました。

12月8日、全議員でいただいた意見の内容を確認しました。
その上で、意見を参考に議会として今後の研究テーマとすることに決定しました。



STEP
02

報告書を市長に提出しました。

「議会報告会・意見交換会」、「高校生と矢板市議会との意見交換会」でいただいた意見については、12月9日、意見をまとめたもの(全て掲載)を報告書として市長に提出しました。
報告書は、市議会ホームページでもご覧いただくことができます。



STEP
03

調査・研究を進めていきます。

研究テーマとしたものは、班を単位として今後調査研究を進め、政策提案につなげられるよう進めていきます。



STEP
04

研究結果をカタチにします。

来年度の議会報告会・意見交換会において、調査研究の成果などについて報告させていただく予定です。
来年度いただいたご意見は、また調査研究のテーマとさせていただきます、サイクルを回していきます。



皆さまの声をチカラに、声をカタチに できるよう、議会一丸となり取り組んでまいります。

声をカタチにするために。

議会改革アドバイザー研修でステップアップしていきます。



早稲田大学 マニフェスト研究所
長内 紳悟 講師

矢板市議会では、10月から早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革アドバイザー」を迎え入れ、研修を行っています。

研修テーマは「政策実現100%を目指す議会運営」。一昨年から矢板市議会に取り組み始めた「政策形成サイクル」をより強化するため、「対話」に主眼を置いた内容となっています。

■ 全6回(月1回)実施し、5人1組のグループワーク形式をメインに行っていきます。

■ 2回1セットで小テーマを設定し、ステップアップしていきます。

◆ 第1回・第2回

「対話で進める政策立案」

◆ 第3回・第4回

「議会の特性を生かした政策立案」

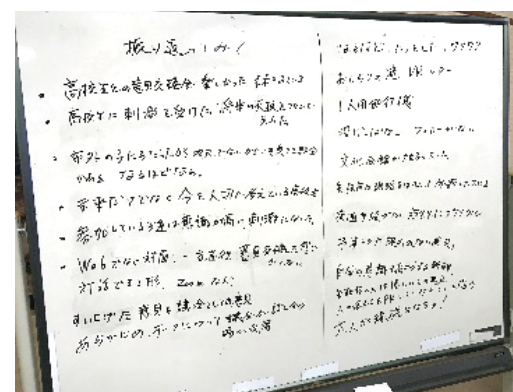
◆ 第5回・第6回

「政策の実現可能性を高める」



◆ 第1回、第2回では以下のことを学びました。

- ◇ 政策立案は「問題」の発見から
- ◇ 「現状」と「あるべき姿」のギャップが「問題」
- ◇ 「問題」を共有することで「課題」へと昇華
- ◇ 共有するためのツールが「対話」
- ◇ 議員間討議は「対話」から始める



◆ 第3回から具体的な課題設定に入っていました。
意見交換会で出たご意見をブラッシュアップします！

【詳細QR】



議案をこのように審査しました。

委員会 審査 レポート

総務厚生常任委員会

◎高瀬由子 ○掛下法示 藤田欽哉 佐貫 薫
小林勇治 宮本妙子 石井侑男 中村久信

議案第1号

・市長の専決処分事項承認について 専決第10号 令和6年度矢板市一般会計補正予算（第6号）

概要 国の令和2年度第3次補正予算繰越分による新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、事業者支援分の追加交付に係る諸事業の経費で、歳入歳出にそれぞれ2880万円を追加計上し、予算総額を140億1620万円に補正したもの。

議案第2号

・令和3年度矢板市一般会計補正予算（第7号）

概要 歳入歳出にそれぞれ3億8210万円を追加計上し、予算総額を143億9830万円に補正するもの。

議案第3号

・令和3年度矢板市介護保険特別会計補正予算（第2号）

概要 歳入歳出からそれぞれ2621万3千円を減額し、予算総額を33億2760万7千円に補正するもの。

議案第4号

・令和3年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

概要 歳入歳出にそれぞれ3245万5千円を追加計上し、予算総額を36億9751万4千円に補正するもの。

議案第5号

・令和3年度矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

概要 歳入歳出にそれぞれ1731万2千円を追加計上し、予算総額を4億3363万2千円に補正するもの。

議案第6号

・矢板市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

概要 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第7号

・矢板市国民健康保険条例の一部改正について

概要 健康保険法施行令の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

議案第8号・第9号

・市町の境界変更について ・市町の境界変更に伴う財産処分に関する協議について

概要 県営中山間高原地区土地改良事業の施行に伴う矢板市と塩谷郡塩谷町との境界変更及び当該境界変更に伴う財産処分に関する協議について、法の定めるところにより議会の議決を求めるもの。



議案書や提出議案に関する説明書など、定例会に関する資料については、市議会のホームページで公開しています。

第370回12月定例会(11月26日～12月9日)の審議結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	市長の専決処分事項承認について 専決第10号 令和3年度矢板市一般会計補正予算（第6号）	承認
議案第2号	令和3年度矢板市一般会計補正予算(第7号)	全会一致で 原案可決
議案第3号	令和3年度矢板市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第4号	令和3年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
議案第5号	令和3年度矢板市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
議案第6号	矢板市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
議案第7号	矢板市国民健康保険条例の一部改正について	
議案第8号	市町の境界変更について	
議案第9号	市町の境界変更に伴う財産処分に関する協議について	
追加議案第1号	令和3年度矢板市一般会計補正予算(第8号)	全会一致で 原案可決
議員案第1号	オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書	

請願・陳情の審議結果

議員名	石塚政行	掛下法示	神谷靖	中里理香	高瀬由子	櫻井恵二	藤田欽哉	佐貫薫	伊藤幹夫	関田紀夫	小林勇治	宮本妙子	石井侑男	中村久信	今井勝巳	採決結果
陳情第13号	新型コロナワクチン接種事業推進の中止を求める陳情															不採択
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	議長	
陳情第14号	新型コロナワクチン非接種者への差別禁止に関する陳情															不採択
	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○	議長	
陳情第15号	マスク着用推奨の中止に関する陳情															不採択
	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	議長	

○は賛成 ×は反対

請願・陳情は、こんな方法で

請願・陳情は、市民の皆さまの要望を市政に反映させるための制度です。
請願書・陳情書を提出する方は、この要領でご持参ください。

■ 様式 ・用紙サイズはA4版。右の様式に準じて日本語で作成してください。

■ 内容 ・簡潔な趣旨、理由、提出日、請願者（陳情者）の住所を記載し、署名の上、ご提出ください。
・1つの請願・陳情につき、1つの趣旨にしてください。

※署名が難しい場合は、記名（パソコン等による印字または代筆）の上、押印してご提出ください。

※請願書には、必ず1人以上の紹介議員（矢板市議会議員）の署名、または記名押印が必要です。
陳情書には紹介議員は必要ありません。

※道路や水路等の場合は、地図の写しや略図を添付してください。

■ 受付期日 ・定例会（3月、6月、9月、12月）開会日の10日ぐらい前までにご提出ください。
市役所が閉庁のときを除き、いつでも受け付けています。
・必ず議会事務局職員にお渡しください。

請願書様式 (表紙) 〇〇〇〇〇に関する請願書 紹介議員 氏 名 (内容) 件 名 〇〇〇〇〇に関する請願 要 旨 理 由 地方自治法第124条の規定により、 上記の請願書を提出します。 年 月 日 請願者(代表) 住 所 氏 名 〇〇〇〇 (連名のときは末尾に署名簿を添え、ここ には代表者を記載し、ほか何名とする。) 矢板市議会議員 様	陳情書様式 (表紙) 〇〇〇〇〇に関する陳情書 (内容) 件 名 〇〇〇〇〇に関する陳情 要 旨 理 由 年 月 日 陳情者(代表) 住 所 氏 名 〇〇〇〇 (連名のときは末尾に署名簿を添え、ここ には代表者を記載し、ほか何名とする。) 矢板市議会議員 様
---	---

お問い合わせ先：議会事務局
TEL：43-6216

【詳細QR】

【詳細QR】





掛下 法示 議員



【今回の質問】

1. 浄化槽管理について
2. 放置空き家対策について

浄化槽法定検査について問う。 放置空き家対策について問う。

質問

浄化槽の法定検査や保守点検などの実施義務の理解不足等により法定検査未実施事例が発生している。市が浄化槽管理者へ法的義務の教育を行い、保守点検・清掃業者へは、浄化槽管理者に対し検査結果の十分な説明をするよう指導すべきと思うが、見解を問う。

答弁

本年度は一般社団法人栃木県浄化槽協会と協力し定期検査未受検者に対し、検査願いを通知。保守点検業者・清掃業者へは管理者へ点検結果を十分に説明するよう通知する。今後とも法定点検の実施率向上に向けて指導していく。

質問

空き家は防火・防犯・衛生上の問題を抱えている。管理不十分な空き家について、近隣住民からの通知制度をつくり、早期に所有者に適正管理の要請や空き家バンク制度を紹介することを提案する。

答弁

空き家対策は重要な課題であり、適正管理や利活用の取り組みを実施している。固定資産税の納税通知書送付の際に、空き家対策の重要性のチラシを同封している。また、令和3年からは早期発見を目的に連絡体制の整備について、2行政区と協定を結んでいる。今後も多くの行政区に制度の活用を働きかける。



神谷 靖 議員



【今回の質問】

1. マイナンバーカードの普及促進について
2. 新型コロナウイルス対策と経済社会活動の両立について
3. プラスチックごみの資源化について

【詳細QR】



マイナポイントでマイナカード普及を！ プラスチックごみの資源化対応について問う！

質問

行政のデジタル化の基盤となるマイナンバーカードを普及させるため、マイナポイント事業の手続きを分かりやすくする必要がある。ポイントの申請やキャッシュレス決済に不慣れな方への丁寧な対応について、当局の見解を求める。

答弁

スマートフォン等をお持ちでない方へは、郵便局や携帯ショップ、コンビニなどでマイナポイントの手続きが可能となっている。また市民課窓口でも専用端末による入力支援を行っている。市民が申請できるように、相談窓口の見直しや、説明の機会を検討し、マイナンバーカードの普及促進を図っていく。

質問

令和4年4月から施行となる「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」で、自治体に廃プラスチック製品を資源として一括回収し、リサイクルを求めている。本市のプラスチック削減への取り組みを問う。

答弁

4月から施行となる法律により、家庭から排出されるプラスチック製品の再商品化促進を図ることとなる。しかし、プラスチックの中からリサイクルすべき物を再分別する自治体の負担は非常に大きくなる。そのため、効果的な分別収集のあり方や、リサイクル施策等について、県・広域市町と連携して、調査・研究をしている。



小林 勇治 議員



【今回の質問】

1. 矢板市の公共交通について
2. 米価下落対策について
3. 新堀川の改修について

米価下落対策について問う。

質問

令和3年秋の収穫では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、米価が下落して困っている農家の方が多い。そのような中、矢板市農業委員会より「令和3年産米価下落に対する緊急対策を求める意見書」が市長に提出された。要望を受け矢板市では独自に「矢板市コメ作付け応援金」を支給する対策を取られているが、さらなる支援策があるのか問う。

答弁

JA全農とちぎが農家に支払うコシヒカリ60kg当たりの概算金は令和元年産が13400円、令和2年産が12400円、そして本年産が9000円となり、わずか2年間で4400円下落した。稲作農家の多い本市においてもその影響は一層深刻になっている。本市では、市農業委員会から米価下落に対する緊急要望を受け、今月から「矢板市コメ作付け応援金制度」を開始した。また、市では、米価下落のみではなくさまざまなリスクから農業経営を守る目的で設けられている収入保険制度への加入促進のために、新規加入者に対し10万円を上限として交付する「収入保険加入促進補助金制度」を来年度からの支援策として検



伊藤 幹夫 議員



【今回の質問】

1. 矢板市における新型コロナウイルスワクチン接種の取組について
2. 国道4号拡幅及びバイパス整備時における道の駅の新設について

ワクチン接種の取り組みについて問う。 国道4号における道の駅の新設について問う。

質問

新型コロナウイルスワクチン接種の現状と3回目接種のスケジュールについて問う。

質問

国道4号において、栃木県道の駅しもつけから、福島県道の駅安達間170kmにわたり、道の駅が存在せず、平成30年9月定例会で中間地点である矢板市に新設を提案したがその後の経過について問う。

答弁

ワクチン接種の現状は、11月26日現在、2回目接種完了者は25567人、接種対象者の86.21%、人口割合では81.29%と県平均を上回る接種率となっている。3回目接種のスケジュールについては、3月と4月に接種した医療従事者は12月から、65歳以上の高齢者は1月下旬から、64歳以下の方は5月からと、2回目接種完了日に基づき進めていく。

答弁

平成30年度に矢板市商工会が事務局となり「一般国道4号矢板市沿線開発推進協議会」が設立され、道の駅設置の検討が行われたが断念したと伺っている。本市においては国道4号に設置されている全14か所の道の駅を調査した。財政効果はあると考えられるが、今後、文化スポーツ複合施設の新設、小中学校の整備事業、市役所庁舎の建て替えなど大規模事業が予定され、財政運営の不透明さから引き続き慎重な検討が必要である。



櫻井 恵二 議員

【今回の質問】

1. コロナ不況下での景気対策について
2. 道の駅の経営状況について
3. 矢板市城の湯やすらぎの里の経営状況について

コロナ禍での景気対策について問う。 矢板市城の湯やすらぎの里の経営について問う。

質問

コロナ不況下での市のこれまでの取り組みとこれからの取り組みについて問う。

答弁

市内経済の消費喚起策として、「プレミアム付き商品券」、「プレミアム付きリフォーム券」を発行し「テイクアウトクーポン券」を配布した。観光業対策は「家族で満喫!!わくわくクーポン券」を配布するとともに、「矢板の魅力再発見！市内体験レビュー事業」を実施した。農林業者向けには、たかはら材を使用した棚を購入したほか地元農畜産物を学校給食に提供した。

今後は商工会と連携を図り、事業者応援一時金や雇用対策支援金等の事業の周知に努める。

質問

矢板市城の湯やすらぎの里について民間に売却または無償貸付を行うべきと考えるが、経営状況の現状と今後の運営について問う。

答弁

令和3年度上半期の来場者数は前年比95.6%、前々年比では44.9%と非常に厳しい状況である。11月には2号源泉ポンプの故障があり修理を断念し、1号源泉のみで対応するため2号館入浴施設は休業することとした。

施設の売却や無償貸付については、起債や交付金による事業を実施しており慎重な判断を要する。今後も厳しい経営状況が続くことから廃止、売却、貸付を含め早急に検討していく。



高瀬 由子 議員

【今回の質問】

1. テレワーク・ワーケーション支援制度導入について
－「選ばれる矢板」へ－
2. スポーツ奨学金制度導入について
－「夢を持てるまち矢板」へ－
3. 小中校生のタブレットの有効活用について
－子どもたちの明るい将来のために－
4. 「矢板ファンクラブ」設立について
－矢板の魅力発信！－

テレワーク・ワーケーション支援を！ 矢板ファンクラブ設立で魅力発信を！

質問

矢板市において、ふるさと支援センターTAKIBIや各宿泊施設でテレワークを行う方が増加傾向にある。矢板市が注目されている今、国体前年の今こそ、さらに関心・関係を持っていただくために補助金交付や商品券提供など、テレワーク・ワーケーションに対する支援制度を提案する。

答弁

TAKIBIにおいて無料で学習やテレワークに利用できるシェアオフィスを設置し、また、オフィス立地奨励金を創設している。市内全ての宿泊施設では通信設備が整備されている。

ワーケーションは本市でも立地を生かした活性化策になり得る。補助金等のさらなる支援制度の必要性を調査研究する。

質問

矢板市には3つの高校とシルバー大学校がある。「矢板ファンクラブ」の設立により、矢板市の魅力を気軽に多くの方に発信してもらう仕組みをつくり、郷土愛の醸成、市内外の方へのPRなどを行うことを提案する。

答弁

本市ではやいた応援大使や市民ライターなどが魅力を発信している。例示されたように大手企業と連携した活性化、メールマガジンの送付や会員同士がサイト上で親交を深められるものがあるなど、参考となる事例が多数ある。

多くの方に矢板市に関心・関係を持っていただくことは重要であるため、調査研究し本市にあった仕組みづくりを検討していく。



中里 理香 議員

【今回の質問】

1. 児童生徒の心の支援について

児童生徒の心のケアについて問う。

質問

長引くコロナ自粛生活の中で、子どもたちは緊張した状態で生活している。気が付かないうちに心の状態が悪化してしまう事も予想できる。児童生徒の心身のケアが大切になると考える。本市の教育現場での現状について問う。

答弁

新型コロナウイルス感染症による活動制限や、学校の臨時休業等により、児童生徒の心が不安定になることもあるということは承知している。

児童生徒の心のケアは、更なる支援としてスクールカウンセラーを市立全小・中学校へ配置して、担当の教職員、スクールソーシャルワーカーが保護者、関係機関と連携しながら組織的に対応するようにしている。

質問

子どもたちの心の健康をサポートするために今後の取り組みはどのようなことや工夫を考えているのか問う。

答弁

児童・生徒が悩みごとや困ったことを学校の教職員以外に相談したいとき、どこへ相談すれば良いか分からないにくい状況になっていることもある。市立小・中学校長会や教頭会、養護教諭の研修会等で、相談窓口の周知を行うことや、保健の授業などで児童生徒が自ら相談できる相談先がいろいろあり、相談する手段がさまざまあることを教えていく。

YAITA
COUNCIL
NEWS

市議会の旬をお知らせ

矢板市議会ニュース

祝！全国大会出場

12月15日、矢板市議会はエールを送るため足利銀行様にご協力をいただき、懸垂幕を掲げました。

第100回全国高校サッカー選手権大会において、矢板中央高校は昨年12月31日米子東、1月2日関東第一と熱い戦いを繰り広げました。

最後まであきらめない、粘り強い戦いに胸が熱くなりました。



議員定数の検討をしています。

昨年11月に委員会を発足し、適正な議員定数について検討しています。今後、市民のみなさまにご意見をいただくことも考えておりますのでよろしくお願いします。